



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 リオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6823 URL <https://www.rion.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 加藤公規 (TEL) 042-359-7099
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,739	△5.0	1,510	△17.1	1,542	△18.1	1,180	△10.3
2020年3月期第3四半期	15,506	1.0	1,822	△0.7	1,883	△1.2	1,315	△3.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,420百万円(△3.0%) 2020年3月期第3四半期 1,463百万円(19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	96.09	—
2020年3月期第3四半期	107.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	29,874	23,118	77.4
2020年3月期	29,850	22,232	74.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 23,118百万円 2020年3月期 22,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
2021年3月期	—	22.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	21.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△2.2	1,800	△27.6	1,900	△26.3	1,500	△15.7	122.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	12,303,400株	2020年3月期	12,294,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	17,293株	2020年3月期	17,293株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	12,282,107株	2020年3月期3Q	12,277,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により経済環境が悪化するなど、極めて厳しい状況となりました。

このような中、当社グループの業績につきましては、微粒子計測器事業の販売が好調に推移したものの、医療機器事業及び環境機器事業の販売が前年同期と比べて減収となり、全体では減収減益となりました。なお、東京都の新宿駅周辺における土地再開発に伴い、賃借していた当社直営の補聴器販売店を新店舗へ移転したことにより受領した補償金を特別利益に計上しております。

(医療機器事業)

個人消費者を顧客とする補聴器は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛により4月から5月にかけて来店者数の減少とともに販売が大きく落ち込みましたが、6月以降は来店者数、販売ともに回復傾向にあり、下期は前年を上回る水準で推移しております。一方で、耳鼻科をはじめとする病院等を主な顧客とする医用検査機器においては感染症対策のため営業訪問に制約のある医療機関が多かったことなどから販売は低調に推移しました。その結果、医療機器事業は前年同期と比べて減収減益となりました。

(環境機器事業)

景気後退に伴い顧客企業における設備投資の縮小や延期が続いていることに加え、取引先に対する営業訪問の制約も影響し、販売が伸び悩みました。下期は前年と同水準まで回復してきているものの、上期の減収が大きかったことから、売上高は前年同期と比べて減収となりました。一方、利益面では営業活動にかかる経費の減少により、営業利益は前年同期並みとなりました。

(微粒子計測器事業)

活発な設備投資が継続している半導体関連市場において、テレワークやオンライン教育の増加に伴うパソコンやデータセンター関連の投資等が加わり、半導体製造工場で使用される液中微粒子計の販売が好調に推移したことから、第3四半期累計期間としては過去最高の売上高を更新し、前年同期と比べて増収増益となりました。

当第3四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上高	15,506	14,739	△767	△5.0
医療機器事業	9,362	8,260	△1,102	△11.8
環境機器事業	2,996	2,720	△276	△9.2
微粒子計測器事業	3,147	3,758	611	19.4
営業利益	1,822	1,510	△311	△17.1
医療機器事業	999	307	△691	△69.2
環境機器事業	163	167	4	2.8
微粒子計測器事業	659	1,035	375	56.9
経常利益	1,883	1,542	△340	△18.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,315	1,180	△135	△10.3

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期決算短信では、業績予想における事業環境の前提として、補聴器販売店への来店者数は順調に回復しており、医療機関や企業への営業活動も年度末に向け徐々に回復していくことを想定している旨を記載しておりました。2020年末頃から感染症が再拡大する傾向にあり、顧客への営業活動における制約は来期にかけて一定程度継続することが見込まれますが、補聴器販売店の来店者数への影響は限定的であると予想しております。

補聴器は、春先の感染症拡大により減少していた補聴器販売店への来店者数が6月以降に持ち直してきていることに加え、昨年7月に発売した中価格帯の新製品を中心とした拡販に注力していくことで回復基調は継続していくものと見込んでおります。医用検査機器は、医療機関への営業活動に依然として制約があることから厳しい販売状況が予想されますが、買替需要を着実に捕捉することでこれまでの水準は維持されるものと見通しております。環境機器につきましては、顧客企業の設備投資動向が不透明な状況ではあるものの、年度末にかけて一定程度の予算案件の執行が見込まれるため、下期に入ってから回復基調が継続していくものと予想しております。微粒子計測器につきましては、半導体関連業界においてテレワーク等の需要に加えて第5世代移動通信システム(5G)の本格的な普及に向けた投資がさらに活性化すると予想され、液中微粒子計の販売が引き続き好調に推移するものと見込んでおります。

以上のことから、今後の業績の見通しにつきましては、5月22日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,074,729	5,983,336
受取手形及び売掛金	6,229,057	5,443,087
たな卸資産	5,145,281	5,646,547
その他	315,148	451,299
貸倒引当金	△9,023	△13,428
流動資産合計	17,755,193	17,510,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,999,516	2,020,839
土地	5,967,194	5,967,194
その他(純額)	1,272,237	1,472,379
有形固定資産合計	9,238,947	9,460,412
無形固定資産		
投資その他の資産	564,529	646,599
その他	2,299,867	2,263,616
貸倒引当金	△7,600	△6,700
投資その他の資産合計	2,292,267	2,256,916
固定資産合計	12,095,744	12,363,928
資産合計	29,850,937	29,874,770
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,749,486	1,920,546
未払法人税等	409,963	45,371
未払費用	289,263	408,395
賞与引当金	1,014,051	466,551
製品保証引当金	178,046	176,930
返品調整引当金	42,600	50,968
その他	335,041	302,021
流動負債合計	4,018,452	3,370,786
固定負債		
退職給付に係る負債	1,885,325	1,668,971
その他	1,714,924	1,716,297
固定負債合計	3,600,250	3,385,268
負債合計	7,618,702	6,756,054

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,014,613	2,024,063
資本剰余金	2,438,112	2,447,562
利益剰余金	14,282,735	14,910,221
自己株式	△10,520	△10,520
株主資本合計	18,724,942	19,371,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	393,463	608,000
土地再評価差額金	3,277,067	3,277,067
退職給付に係る調整累計額	△163,238	△137,680
その他の包括利益累計額合計	3,507,292	3,747,387
純資産合計	22,232,234	23,118,715
負債純資産合計	29,850,937	29,874,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,506,743	14,739,032
売上原価	7,283,155	7,246,444
売上総利益	8,223,588	7,492,588
販売費及び一般管理費	6,401,510	5,982,037
営業利益	1,822,078	1,510,551
営業外収益		
受取利息	3,779	5,785
受取配当金	20,442	23,778
受取家賃	37,260	36,362
その他	32,150	22,510
営業外収益合計	93,633	88,436
営業外費用		
支払利息	1,312	1,034
為替差損	103	23,547
支払手数料	26,009	21,915
その他	5,226	9,897
営業外費用合計	32,652	56,394
経常利益	1,883,059	1,542,593
特別利益		
固定資産売却益	30	1,377
移転補償金	—	190,000
特別利益合計	30	191,377
特別損失		
固定資産売却損	—	61
固定資産除却損	11,759	3,864
投資有価証券評価損	—	9,288
特別損失合計	11,759	13,214
税金等調整前四半期純利益	1,871,330	1,720,755
法人税、住民税及び事業税	369,271	311,510
法人税等調整額	186,567	229,090
法人税等合計	555,838	540,601
四半期純利益	1,315,491	1,180,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,315,491	1,180,153

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,315,491	1,180,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	156,752	214,537
退職給付に係る調整額	△8,305	25,557
その他の包括利益合計	148,447	240,095
四半期包括利益	1,463,938	1,420,248
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,463,938	1,420,248
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定については、第2四半期報告書の追加情報において、補聴器販売店への来店者数は順調に回復しており、医療機関や企業への営業活動も年度末に向け徐々に回復していくことを想定している旨を記載しておりました。2020年末頃から感染症が再拡大する傾向にあり、顧客への営業活動における制約は来期にかけて一定程度継続することが見込まれますが、補聴器販売店の来店者数への影響は限定的であると予想しております。また、微粒子計測器についても半導体関連業界の活発な設備投資動向に伴い、好調な販売が今後も継続するものと見込んでおります。以上のことから、当社業績に与える重要な影響はないものと想定しております。

繰延税金資産の回収可能性や減損損失の判定にあたっては、上記の前提に基づき会計上の見積りを行っておりますが、当該変更による影響はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	微粒子計測器 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	9,362,574	2,996,955	3,147,213	15,506,743	—	15,506,743
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,362,574	2,996,955	3,147,213	15,506,743	—	15,506,743
セグメント利益	999,108	163,312	659,657	1,822,078	—	1,822,078

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	微粒子計測器 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	8,260,483	2,720,022	3,758,526	14,739,032	—	14,739,032
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,260,483	2,720,022	3,758,526	14,739,032	—	14,739,032
セグメント利益	307,513	167,854	1,035,182	1,510,551	—	1,510,551

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	医療機器事業		環境機器事業	微粒子計測器事業	合計
	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	
外部顧客への売上高	7,618,798	1,743,776	2,996,955	3,147,213	15,506,743

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	医療機器事業		環境機器事業	微粒子計測器事業	合計
	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	
外部顧客への売上高	6,900,709	1,359,774	2,720,022	3,758,526	14,739,032